CATEYE DUAL

CYCLOCOMPUTER
Model CC-DU100

U.S. Pat. Nos. 4633216/5236759 & Design Pat. Pending

CCMDU1-950202-8 Printed in Japan 0687330

タイヤ周長ガイド（タイヤサイズは通常タイヤの側面に記載されています）

タイヤサイズ		タイヤサイズ		タイヤサイズ		タイヤサイズ	
24 x 3/4 Tubular	178	26 x 1-1/8 Tubular	197	26 x 2.125	226	700 x 18C	207
24 x 1	179	26 x 1-3/8	207	27 x 1	214	700 x 19C	209
24 x 1-1/8 Tubular	179	26 x 1-1/2	210	27 x 1-1/8	216	700 x 20C	211
24 x 1-1/4	191	26 x 1.40	200	27 x 1-1/4	218	700 x 25C	212
24 x 1.75	189	26 x 1.50	203	27 x 1-3/8	221	700 x 28C	214
24 x 2.00	192	26 x 1.75	205	650 x 35A	209	700 x 30C	217
24 x 2.125	196	26 x 1.95	211	650 x 38A	212	700 x 32C	216
26 x 1	195	26 x 2.00	208	650 x 38B	211	700C Tubular	213

取扱上の注意

- 炎天下の放置は避けてください。またコンピュータは分解しないでください。
- 走行中はコンピュータに気を取られないで、安全走行を心掛けましょう。
- コンピュータに強い衝撃を与えないでください。
- マグネットとセンサーの位置を定期的に点検してください。
- コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いたあと、空拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますのでご使用にならないでください。
- 本器は電池交換できません。処分するときは、本体裏面の円形の溝に添ってナイフ等で切り込みを入れ、内部の電池を取り出してから捨ててください。

●つぎの場合は故障ではありません。修理を依頼する前にチェックしてください。

*** 速度表示が出ないとき、本体の接点を金属片で数回ショートさせます。速度が出た場合、本体は正常です。**

トラブル1　液晶表示面が黒ずみ、正しい表示以外の部分が見える。
日陰に入れば元に戻ります。データに影響はありません。

トラブル2　表示の動きが鈍くなる。
温度が上がれば元に戻ります。

トラブル3　異常な表示がでる。
ACボタンを押し、新たにセットを行なってください。

トラブル4　走行速度が計測されない。
センサーとマグネットの距離が離れすぎていませんか?
センサー指示線とマグネットのセンターがずれていませんか?
マグネット／センサーの取付けを参照して、調整し直してください。

仕様

機能	表示範囲	最小単位
走行速度	0.0(4.0)〜105.5km/h[0.0(3.0)〜62.5mile/h]	0.1km/h[mile/h]
走行距離	0.00〜99.99/100.0〜999.9km[mile]	0.01/0.1km[mile]
積算距離	0.0〜999.9km[mile]	0.1km[mile]
	1000〜9999km[mile]	1km[mile]
時計	0:00'〜23:59'	1'
タイヤ周長セット範囲	100cm〜229cm	初期値203cm

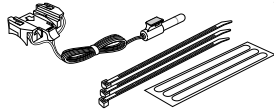
センサーコード長さ　70cm
電池寿命　約7年　＊1日あたり2時間自転車に装着し、サイクロコンピュータとして機能させた場合
寸法／重量　45x45x14mm／18.5グラム
制御方式　4-bit 1-chip Microcomputer (Crystal Controlled Oscillator)
検知方式　No-contact magnetic sensor
電源　Lithium Battery (CR2032x1)
使用温度範囲　0。C - 40。C(32。F - 104。F)

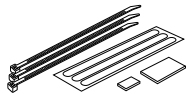
製品保証について

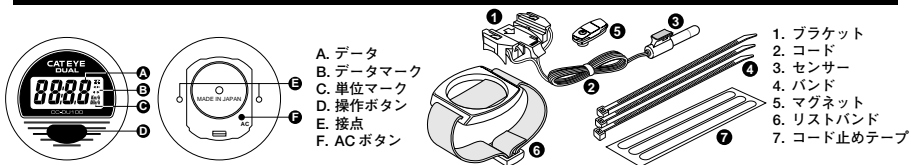
1 年保証：コンピュータのみ（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で万一故障した場合は無料で修理･交換いたします。保証書にお客様のお名前･ご住所･ご購入日･故障状態をご記入の上、製品と共に当社宛て直接お送りください。お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、当社より郵送にてお届けさせていただきます。

[宛先]　**株式会社キャットアイ　製品サービス課**
〒546-0014 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号
TEL: (06)6719-6863　FAX: (06)6719-6033

＊アクセサリーパーツを別途販売していますのでご利用ください。

 # 169-6760　ブラケット／センサーキット

 # 166-5120　マグネット

 # 169-6770　アタッチメントキット

 # 169-6790　リストバンド

ボタンの働きと表示の見方

●操作ボタン

このボタンを押すと、表示の内容が(図1)の順序で切り替わります。

● AC ボタン（本体裏面）

このボタンを押すと、全ての記憶(積算距離データやセットした数値)が消えてしまいます。

初めてご使用になる時と異常な表示になった時以外は押さないでください。

走行速度　SPEED

今のスピードを表示します。

この表示の時、操作ボタンを押し続けるとkm/hとmile/hを変更できます。

走行距離

どれだけの距離を走ったかを表示します。

この表示の時、操作ボタンを押し続けると、データはリセットされ0に戻ります。

積算距離

今まで走った距離をトータルで表示します。この表示の時、操作ボタンを押し続けるとタイヤ周長を変更できます。10000km(mile)を越えるとゼロに戻り、引き続き計測します。データはリセットできません。

時計

時刻を表示します。この表示の時、操作ボタンを押し続けると時刻を変更できます。

0.0 SPEED
15.76
123.4
10:39

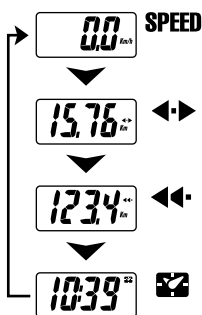



図1

コンピュータのセット

使う前に自転車に合わせてコンピュータをセットしましょう

●取付けようとする自転車のタイヤの長さ（周長 L）を測りましょう（図 2-1）

タイヤ接地面にペンキ等で印を付けて1回転させ、道に付いた印の間隔を測るとわかります。簡易的に周長ガイドで、タイヤサイズから周長cm(L)の目安を知ることもできます。

● km か mile かを選びます（図 2-2）

裏面のACボタンを押すと画面が全て点灯した後、"km/h"が点滅します。操作ボタンを押すと"km/h"と"mile/h"が交互に表示されます。希望の単位を選びましょう。操作ボタンを押し続けるとセットされます。

●タイヤ周長をセットしましょう（図 2-3 ～ 4）

速度単位セット後は(図2-3)の表示に変わります。先ほど求めた周長をセットします。

操作ボタンを押すと、点滅している数字を＋できます。押し続けると、点滅する桁が変わります(図2-4)。周長を表示させて、操作ボタンを押し続けるとセットが終わり、走行速度表示に戻ります。

○時刻をセットしましょう（図 3-1 ～ 3）

1. 操作ボタンを押し、時計を表示させてから、操作ボタンを押し続けます。
2. 操作ボタンを押すと、点滅する数字を変更できます。押し続けると、点滅する桁が変わります。セットしたい時刻が表示できたら、操作ボタンを押し続けてください。点滅が終わり、時刻のセットが終了して時計表示に戻ります。

図2-1

図2-2

203 図2-3

213 図2-4

0:00 図3-1

1:00 図3-2

図3-3

自転車への取付け

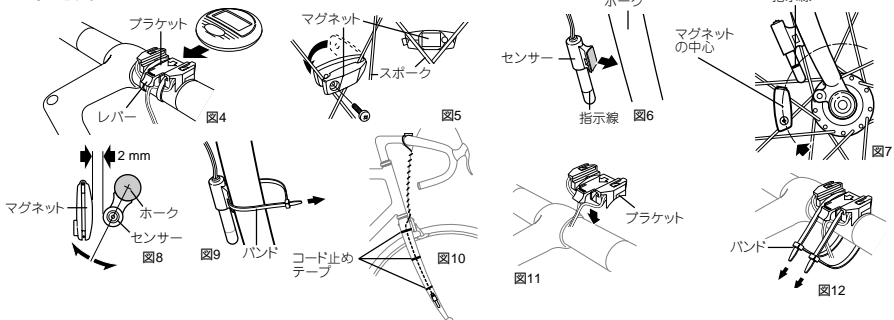
コンピュータの装着（図 4）

コンピュータは、ブラケットの前方よりスライドさせて装着します。カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。

外す時は、ブラケットのレバーを下へ押しながら、前方に引き抜いてください。

自転車への取付（図 5 ～図 12）

- 前輪右側のスポークに、マグネットを(図5)のように取付けます。スポークが図のように通るようにします。
- 右側前ホークの内側に、センサーを粘着テープで仮止めします。(図6)この時、次の点に注意して貼り付けてください。
  1. マグネットのセンターとセンサー指示線が合っていること。(図7)
  2. マグネットとセンサーの隙間が2mm前後になっていること。(図8)
- マグネットとセンサーの取付位置が適切かテストしましょう。コンピュータをブラケットに装着してください。前輪を浮かせて軽く回し、速度が表示されるか確認します。表示しない時は、再度センサー位置の調整を行なってください。
- バンドでセンサーをホークにしっかりと固定します。(図9)バンドの先端を穴に通し、ペンチ等で強く引っ張ります。はみ出したバンドはカットしてください。
- (図10)のようにコードを配線し、テープで所々をフレームに固定します。ハンドルを回した時に、コードが引っ張られないよう注意してください。
- ブラケットをハンドルステムの近くに粘着テープで貼り付けます。(図11)
- バンドをブラケットのミゾへ通し強く引っ張って固定します。(図12)はみ出したバンドはカットしてください。以上で取付けは完了し使用できます。

図4 図5 図6 図7 図8 図9 図10 図11 図12

腕時計としての使い方

リストバンドで腕時計として使えます。

- バンドリングに上から押しつけると装着できます。(図13-1)
- 外す時は、右または左にひねってください。(図13-2)

図13-1 図13-2